

一 土地改良区の将来のために多様な意見を！ 一 (員外理事制度の活用による女性理事登用事例)

財部町土地改良区について

所在地:鹿児島県曾於市
面積:607ha 組合員:1,328人
総代: 48人(うち女性2人)
理事: 23人(うち女性1人)
監事: 3人(うち女性1人)
職員: 2人(うち女性2人)
(令和5年11月時点)



堀野理事長

橋口理事

橋口まゆ 理事 プロフィール

- ・理事就任の時期:令和5年3月から
- ・主な経歴:女性農業経営士、農業推進委員、地元グループ「Soo Women Farmers」代表
- ・普段のお仕事:製茶業、農業
- ・理事としてのお仕事:勉強中。人と人を繋ぐことができれば。
- ・理事に就任した経緯:理事長からの打診



女性理事へのインタビュー

Q. 理事に就任されるまでの流れを教えてください。

A. 就任の2カ月ほど前から理事長にお声がけいただき、事情等を伺い就任を決断しました。土地改良区の活動は知りませんでしたが、親と理事長は仲が良く、理事長の人柄を知っていたことも良かったと思います。話を聞く中で、改めて農業を助けてもらっている組織が色々あることに気づかされました。

Q. 実際に理事として活動する中で感じたことを教えてください。

A. 現在勉強中ですが、知識を増やすことは必ず自分のプラスになると思います。学んだことを地域の女性にシェアするなどして、多くの方と連携しながらパズルのピースを合わせていければ、地域の農業も良くなるのかなと思っています。

Q. 土地改良区職員や他の役員に求めることはありますか？

A. 総会等の中で意見を述べるまでまだハードルの高い雰囲気があり、正直コミュニケーションが取りづらい部分もあります。まずは名前・顔を覚えて互いに話がしやすくなるような機会があるとありがたいです。
立場の視点は重要であり、“男女”は問わず、あまり意識しすぎないよう意見を対話できるような環境を望みます。

理事長・事務局へのインタビュー

Q. 女性理事を登用するにあたって苦労したことはありますか？

A. 地区の代表に話しても前向きな意見が出てこなかったこと。そのため、理事長として日常的に地域の活動をされている方にお声がけしました。

Q. 土地改良区の男女共同参画を進めるにあたって重要なこと・必要なことはどのようなことだと思いますか？

A. 役員の世代交代により、バランスの良い年齢構成となること、また女性理事を迎える機運を高めることが必要だと思います。土地改良区の将来のためには多様な意見が必要であり、女性も入らなければ運営が上手くいかなくなると思います。